

外務省所管 令和3年度補正予算（第1号）における「個別プロジェクトにイヤマークした任意拠出金」の成果目標一覧
（主にコンセプト・ノートに基づく暫定版）

（注意事項）

- ① 現段階の成果目標は、暫定的に外務省限りで作成したため、今後、相手国政府または国際機関等からの最新の情勢等に基づいた要請により、内容に変更が生じる場合がある。
② 追加予算額は「億円」単位とし、原則としてそれぞれ小数点第2位を四捨五入によっているため、端数において合計とは合致しないものがある。

イヤマーク拠出金で補正 予算措置される案件名	事業概要	実施国際機関 [追加予算額の総合計]	成果目標 （暫定版）
中東・北アフリカ地域における新型コロナウイルス感染 拡大防止対策等	国際機関（WFP、UNHCR等）への拠出を通じ、中東・北アフリカ地域に対する保健・医療、水・衛生等の支援を実施し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図る。また、新型コロナを受けた世界的な社会経済状況の悪化や紛争等による社会の不安定化を踏まえ、人道状況の改善等に向けた支援を行う。	国際連合人道問題調整事務所 （OCHA） [合計 1.6 億円]	イラク及びシリア（周辺国含む）において、新型コロナウイルス感染のリスクが高い難民、国内避難民等の脆弱な人々が適切な支援を受けられるよう、人道支援の総合調整等を実施することにより、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策の効果向上をはかる。
		国際連合開発計画 （UNDP） [合計 2.9 億円]	・チュニジアにおいて、医療機材の供与や能力強化等を実施することで新型コロナウイルスの感染防止に取り組み、より良い経済回復に向けた取組を後押しする。 ・パレスチナにおいて保健セクター、国境管理・検疫関連施設への対策支援を通じ、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図りつつ、より良い経済への回復を図る。
		国際連合教育科学文化機関 （UNESCO） [合計 1.4 億円]	パレスチナにおいて、新型コロナウイルス感染のリスクが高い脆弱な子ども達に対してデジタル技術を活用した教育環境の整備を支援することにより、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図る。
		国際連合難民高等弁務官事務所 （UNHCR） [合計 2.0 億円]	シリア及びヨルダンにおいて、新型コロナウイルス感染リスクが高い難民、帰還民、国内避難民、ホストコミュニティに対して保護、医療、水・衛生等の分野の支援を実施し、脆弱な人々の人道状況の改善につなげる。
		国際連合訓練調査研究所 （UNITAR） [合計 0.4 億円]	イラク、レバノン、エジプトにおいて、新型コロナの拡大により深刻化した危機から復興するため、新型コロナウイルス対応の最前線に立つ各国の保健分野の公共部門・中小企業・NP0職員等を対象にした研修を実施し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図る。
		国際連合プロジェクト・サービス機関 （UNOPS） [合計 1.4 億円]	レバノンにおいて、保健医療施設への機材供与、持続可能エネルギー供給及び医療廃棄物の適切な処理にかかる支援を通じて、保健医療サービスの強化を行い、感染拡大防止を図る。
		国際連合パレスチナ難民救済事業機関 （UNRWA） [合計 0.5 億円]	レバノンにおいて、シリアから流入したパレスチナ難民等の新型コロナウイルス感染リスクが高い難民に対して二次医療を含む保健医療等の分野の支援を通じて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止につなげる。
		世界保健機関 （WHO） [合計 0.5 億円]	チュニジア及び東地中海地域諸国において、人道危機下にある脆弱な人々への医療サービスの向上支援や新型コロナ患者のための酸素生成装置の供与等を通じ、感染拡大防止を図る。